

# 栄八通信

武雄市議会だより

(Web版) 始めました

http://ei-8.info/

第57号

H26年14月10日発行



武雄市議会議員 宮本栄八  
TEL・FAX 23-0750  
携帯 090-5083-0793

## 杵東衛生処理場組合からの 離脱意見書と 新処理場24億円は不参加か

選挙前の3月議会、私から見れば、画期的な意見書が採択された。新聞には、議会閉会の欄に1行書かれていただけで、市民の方はあまり伝わっていないと思う。具体的には「杵東地区衛生処理場組合からの離脱を求める意見書」が全会一致で採択されたこと。

現在、大町・江北・白石町に、武雄市北方町のし尿汚泥を共同処理しているが、その組合から、北方分を市内処理に変え、組合から脱退して、市民の負担軽減をはかろうとする合理的な市への意見。そこで、新年度の議会で、この意見に対する市の対応をたずねた。答えは、「新処理場が建設予定のH31年までは、現状のままで行く」主旨の答弁だった。

私は、昨年度まで、杵東処理場組合の議員でもあり内情はある程度分かっている。各自自治体から負担金(基本割り・従量割り)を集め、約2億5千万の予算で運営しているが、黒字が1千万円程度で、これから北方町分の約5千万円が減少すると運営が成り立たない可能性も確かにあるので、他町の事を考えれば今離脱は難しい。

### 【新処理場の建設】

私は、H24・25年度、小池元議員(組合議長)と共に組合議員で私は、新処理場の計画を早く作るように求めていたが、年度末の2月に報告書が配布された。3cm

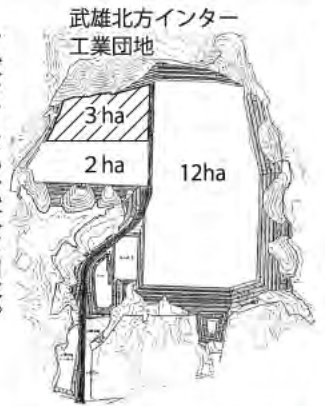
下水道料金 (20㎡)	
多久市 (2430)	鳥栖市 (2430)
鹿島市 (2592)	唐津市 (2770)
嬉野市 (2910)	小城市 (2970)
佐賀市 (3110)	伊万里市 (3420)
武雄市 (4104)	

### 【下水道放流で対応】

ところで、杵東の処理場に搬入していた北方分をどうするかだが一番投資が少ないのが、希釈(うすめる)施設を作り、下水道に放流する方法。昨年度より、武雄市のし尿処理センターも、最終処理までせずに、下水道の近くの本管に放流して、大幅に経費を低減している。

## 北方インター工業団地 売却と気になる点

すでに、御存知かと思うが、武雄北方インター工業団地に、コスモス薬品の流通センターが立地する。今議会、土地売却の議案が出て来た。そこで、まず驚いたのが売却先が、興銀リース(株)だった。要は、一種の上・下分離方式で、コスモス様が、30年間、土地を借りる形で、事業を進める計画。私が知る限り、土地購入者と事業者が異なる例は本市では初では。一方、土地売買の契約書には、用途指定として、「(株)コスモス薬品の事業計画に基づく工場 又は事業所等の用地」として10年は使用する事としてあり、逆の見方をすれば、他の事業所になっても良い条件や10年以降は特にしぼり



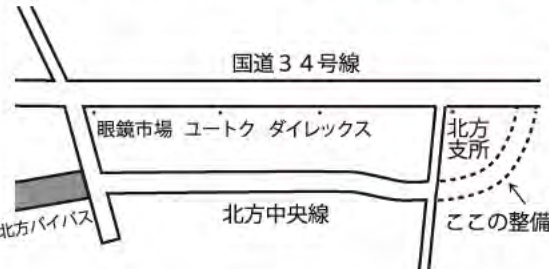
武雄北方インター工業団地

を設けない寛大な内容。売却代金は、約4億1260万円、面積は29684㎡で、単純計算としては、坪約4万6千円。私が今回、気になった点を言うと、新規立地企業に対する支援策の「5免5減」である固定資産税の5年間免除やその後5年間の減額について、土地の購入者である、興銀リース(株)は、今の条例上では、支援策を受けられないという問題。私は、上下分離の立地を認める以上、土地購入者にも、支援策の適用をしていくべきと思った。以前、視察に行った東海地方では、デベロッパーの作った巨大流通センタービルに、各企業が入居する形で進んでいた。そんな事から、今後土地購入者や開発業者にも支援策を適用することが、企業誘致の早道になるのではと思う。一方、私が以前から言う、住宅地並みの容積率200から工業地域400への早期緩和も必要。

## 北方パイパスどう 34号線にタッチする?

北方パイパスの本来の意味は、武雄パイパスと江北パイパスの間を整備するもの。現在の意味合いは、そのパイパス用に国が確保していた土地の分を、部分整備し大崎地区の渋滞を緩和しようとするもの。ここは、なぜか年度ごとの予算付けに波があった。そこで、再度進捗状況をたずねると、H27年度に橋梁、H28年度に路盤、H29年に、表層整備し完成との話し。

私が一番気にしているのが、以前から言う、眼鏡市場から逆Z型にまがる不便さである。ただ、直線的には、市道北方中央線(ユートク裏)に続き、北方支所方面に行くが、出口を整備しないとせつかつくのパイパスの意味がない。市への対応をたずねたが、以前は答弁なし。今回は地元と話し合うとの答え。



## 国保会計 値上げ後も 赤字つづく!

H26年度、国民健康保険会計で、前年度の繰上充用金が、6億4667万円が計上されていた。これは、簡単に言えば、昨年度までの赤字をH26年度から前借して支払うというもの。H22年から毎年あるのだが、今回は、特に注目される。それは、H25年度に、9.6%に国保税を値上げして、単年度の赤字をくい止める対策を打った。しかし赤字は続き、再度の値上げも考えなくてはとの心配も出て来た。

この6億4667万円の内、H24年度までの赤字5億8464万円なので、H25年度の単年度では差の6203万円の赤字。H24年度の単年度が1億7656万円なので、H25年度の値上げ等で、赤字が1/3程度には減少したと見る事もできる。

一方、高齢化に伴う医療費増大は他市も同様。そこで、H31年に、県単位で一本化を図るよう話し合いが数年前からされているが、各自自治体の税率や赤字などの財務内容に差がある為、思うように話が前進していない様子。また、値上げとは別に、H24年度より、一般会計から、5千万円を、医療費部分でなく、保健事業分に支出されている。結局、私の考えでは、昨年値上げしたばかりで、再値上げは困難。市が、中学年までの医療費を原則無償にした分の、国保相当分は加入者の負担増にもなると思う。だから、一般会計からあと5千万円程度、医療分にも補助して残りを、ジェネリック薬品の推進や、滞納者対策で黒字化するのが現実的と考える。

## お住もう課 安心安全課

各地で、問題化している空屋対策だが、なかなか進まない状況。「危険な空屋」については、「安心安全係を課に変更し、課長を付けた4人体制に。9件は所有者解体。残り24件中5件は所有者不明。法的に進めている案件も、市の助言・指導止まりで解体には至らず。『住める空屋』については、「お住もう課」を作り、定住の促進をはかると言う。ただ、現状は、H19からH25年の実績は、7年で7件なので、定住特区的効果は少ない。そこで、市長が、今議会、新方針が示された。それは、市が空屋を一旦所有し、リフォームして貸し出すというもので、島根県海士町で実施しているという。また、空屋対策ではないが、市の土地に、民間住宅を建てさせる定住案も示された。ただ具体策に言及はなく今後たずねたい。

## 田代酒造跡の 買い戻しと土地基金

旧長崎街道をしのばせる建物として親しまれてきた、田代酒造跡だが、白壁造りの建物は、市長は老朽化して危険として、昨年解体されて更地になった。今回、所有する土地基金より、9926万円で、市が買い戻した。解体の時から言われていた、跡地利用であるが、民間のアパート業者や、近隣からの一部購入希望が出ているとの話し。

今まで、旧武雄市の市街地プランで、新町を温泉街に隣接する歴史観光の場所として位置付け、整備もしてきた。田代酒造跡はその核でもあった。今後、この土地を売却する中で、新町の位置付けを明確にして行く必要がある。一方、この土地基金は、現金約6億円と、土地約2億円を保有。ただ本物件売却後は、北方小の南の土地が全体の半分を占める。



# 市長の選挙ハム約結局 水道料金値下げは9%

市長は、選挙の公約として、水道料金の値下げ5%を打出され、また、別の所では、消費税アップの市民負担軽減などから8%値下げの言及もあつていました。

今議会、結局どういう考え方で何%値下げするかを再度、確認する質問に対し、9%を下げると明言された。ただ、値下げの経営的理論に関する答弁はなかった。

それと別に、基本料金である、6m<sup>3</sup>10m<sup>3</sup>は、一定料金であるのを、不公平として、使用水量に応じた料金体系に変えるとの話。現在基本料金1700円(税ぬき)が、6~9m<sup>3</sup>の家庭は下がる事に、そうなれば、基本料金が無くなったとの見方もできる。

ただ、武雄市は、0~5m<sup>3</sup>について、(少量使用による軽減料金)一律800円(税ぬき)の特別料金体系になっている。

だから、今後は、この軽減料金が、基本料金的になると思われる。今後のスケジュールとしては、9月議会に、議案を提出するとの話である。ただ、一方、市の答弁では、全体の水道料金の9%値下げとして、各家庭の料金が9%下がるのか?また、現在の税込み価格から下がるのか明確ではない。

## 【私の提案】

私は料金値下げが早く進む為には、具体的議論をしたが近道と思案した。全国の料金比較で使われるのが、一般家庭の平均とされる、月20m<sup>3</sup>での料金比較。現在は、基本料金(1700円)+超過料金(290円)×使用水量(10m<sup>3</sup>)×消費税8%となり、20m<sup>3</sup>使用の水道料金は4968円。合併後の値下げの時は、超過料金を、310円から、290円に下げている。だから、これにさらに、同様の30円を下げ、超過料金を260円にして、計算すれば4

644円で、県内1の高料金を脱却する。

財源は、年間の黒字1億3千万円程度ある中の半分の6000万円程度を利用すれば問題はないと提案した。

これに対する、市の反論や見解を受けて、議論を進めようと考えたが、市からの反応はなかった。

一方、市は、企業努力で、約1億円の経費削減をしたとの話も出たが、もしそうなら、それを、市民に還元すべきと考えた市民も多しと思うし、その分を使えば、超過料金を240円にし、4428円で、県内市の中程度になる道も。

## 意外と重要な 2つの計画見直し

### 【都市計画道路の見直し】

今回、都市計画図にのる、都市計画道路の見直しの予算が付いた。

これは、旧武雄市の用途区域内の都市計画道路が、計画して30~40年たつても整備されていない所について、見直しをする。

計画線は、住民に建物の建築制限がかかる事や、逆に部分的な整備がしにくい点もある。

### 【公共下水道区域の見直し】

現在、公共下水道は、武雄温泉付近から、駅までと、駅から、新武雄病院付近まで進んでいる。

下水道事業は、7年先までの認可を得て進める為に、着工前に区域を指定しなければならぬ。

そこで、次の地区、大まかには西の下西山方面、北の八並川良方面、東の東部地区の選択。また、逆に時間がかかる公共下水道区域から外して戸別浄化槽区域への変更(川良北部)も課題。

## 反転学習改め スマイル学習へ!

タブレット端末を使った、電子学習を、反転学習と呼ぶ事に、やっと慣れたと思ったら、これを武雄式スマイル学習と名称変更されて、またとまどった。さらに、このスマイルは、子供が笑顔で学習する意味と捉えていたら、そうではなく、SMILEは、スクール、ムービー・・・エディケーショント、長い英文の頭文字の造語だという説明。

一方、現状は、全小学校、3~6年生の理科・算数の授業の約1/3で活用している。問題の作成は担当学校の教員が作り、全学校共通の内容。夏休みまでの教材は作成済みとのこと。

私は、基本的に今は見守る形だが、心配な点、1・2年が未活用なので、漢字や九九での活用や、

## 保育所の 新築ラッシュ

今年度、武雄町の花島保育園が場所を、和住宅の用地北側に移転新築される。市営住宅の高層建替えてできたスペースを利用。

また、山内町の芳華保育園が、同法人の経営する、高齢者施設のそよかぜの森の隣接地に移転新築する予定。その建設に対する補助金が、県が2/4と市が1/4の合計3/4の約1億5千万円程度を支援。

また、来年度には、民営化された武雄保育園も移転新築を予定。

今後導入の中学校は、キーボード付きなど提案。これに教育監は前向きな回答をされた。

## はなまるる学習会との 「官民一体」学校の中身

私は、この話を初めて聞いた時、学校の先生と、塾の先生が、授業を半分づつ受け持ち、学校の運営やカリキュラムに、塾の方針を入れ、一体化すると思っていた。

しかし、話を聞いてみると、主な部分は、登校して1時間目までの約20分程度の朝の学活(読書の時間)を、埼玉県を本拠地に100余りの体験啓発的塾を展開する、はなまるる学習会の指導法を導入する内容。これを「モジュール」と呼ぶ。

一方、市民や保護者や先生を心配に落し入れたのは、「官民一体型学校」という名称の付け方に配慮が欠けていたからではないかと思う。

あと、朝の学活以外では、金曜日の放課後、同学生だけでなく、屋外活動をする「青空教室」と、月曜日放課後か「なぞべ」という、テスト?未定が計画されている。

また、来年度の本格導入に当り

対象を市内小2校程度としていて、各学区の区長会や先生、保護者等で、委員会を作り、そこが手を上げる方式により、教育委員会が選定する。

現在は、武内小で実証校として代田教育監が、武内小の校長を兼任して現在行われていて、来年の2校選定には、武内小は入るのはまちがいないとの見方に、実証と本格導入とは、一切関係ないとの話。現在選定基準は出ていない。

ただ、よく考えると、基本は、朝の学活の時間をどう使うかの問題で、本格導入校に指定されなくても、校長や教師の判断で、同等の事は今からでも実施できるのではないかと思う。

一方、目標とする「メシを食べる大人」へどうすればなるのかの道筋は、まだ不明なので、そこを保護者や児童に分かりやすく説明して欲しい。

## 競輪場リニューアルの第一歩

現在、約10億円保有する基金から、2700万円を使い、改修設計委託料が計上された。

約2000万円は、自転車走路の改修に関するもので、つい先のH24年秋に、ウォークトップと言った、路面を塗り替え新しくしたが、間もなく、カーブ付近がはがれてしまった。その原因が、土台となる路盤が長年の劣化で水のしみや、ひび割れ等の関係が明白。

そこで、土台からの改修を前提とした、設計をする。

一方、私が、大変、期待するのが、700万円、計画作りがされる、競輪場全体のコンパクト改修である。他に耐震化・IT化もあり、施設の統廃合は必要とは分かっていても、公営レースの廃止もある中、一定の決断も必要だったと思

う。

一方、近年の経営状況は、一般会計への繰入れどころか、基金を3億円程度まで減らしていたが、上部団体への上納金も一部免除された事もあって、年間約1億円の年も多く、現在基金が約10億円に増加している。私はこれに借入金を加えて、早期に改修すべきと提案もしてきた。

たしかに、本場での売上げは減少し、収入の中心は、場外発売所や電話投票になっているが、本場あつての事であるので、利用の少ない建屋等を解体し、コンパクト化し、管理運営に費用のかからない施設に変え、同時に、新たな顧客の取り込みも必要である。

武雄競輪も60年近い歴史もあり新たな転換期の第一歩と期待す

## ガールズ競輪 開催される

5月14・15・16日、武雄競輪場で初めて女子の競輪、正式には、ガールズ競輪が開催された。

具体的には、通常の男子競輪レースの11レース中の2レース女子。優勝は、地元福岡の矢野光世。(佐賀はまだない。)

見た目の違いは、男子が9車立てなのに、女子は7車立て。

また、自転車の後輪は、スポークでなく、色付きのディスク板なので、目立って、新しい雰囲気。

ちなみに、レースが少ないのは女子競輪開始3年程度で、全国で約70選手しかいない為(毎年20名程度増加)私が女子競輪に新たな期待を持ったのは、実力差が大きいのか、本命が来るので、購入単価100円に対し、配当が2倍など、低配当、逆に言えば、当り易いのでレジャーとしての客拡大へつなげられる期待。

※追信 女子競輪は昭和30年代にもあつていて、市内にも選手だった人も多数おられる。

## 体育館の改築 武雄小と山内西小と色

今議会、武雄小の体育館の工事を契約を承認した。金額は3億2581万円(税込み)で、完成はH27年の3月6日までとある。

一方、意外だったのが、山内西小の体育館の設計委託料1059万円の予算で、私が以前、同体育館も改築が必要ではと担当者に聞いた時、耐震強度はクリアしているのに、改築計画は当面無い感じ。

今回、予算が上つていたので訊ねると、鉄骨は残して、それ以外を大規模改造するとの話で、結局は、耐震強度にこだわらず、老朽化した施設は改築できる模様。

一方、耐震強度はあつても、鉄骨やコンクリの残り耐用年数が少なければ、鉄骨も変えた方がよいのではと思う。一方、私が最近こ

だわつているのは、学校建物の色で、武雄小学校舎・山内の給食室が、赤サビ色で暗いので、体育館は子供の好きな明るい色にしてはと提案するが明確な答えがない。